

布施は馴染があつたのだ。

新吉は歌子と云ふ女だつた。

仕方がないと思つた。

厄落しだ。

朝になつて新吉は其の三階で観音經をドナツた。

何にも心をトキメカス喜びが新吉にはない。

善之助は源ちやんとこへ泊つたんだらうと辻潤が推察して行つてみると果してゐた。

源ちやんは居なくて、親父さんが、おいしい味噌汁をのますと言ふ。

納豆もおいしかつた。

弘法大師が偉大な體格の持主だつた仲麿の天文學には及ばなかつた事や、詰摩の事などを親父

さんは話した。

佛教信者で中々學者だ。

衝立や矢立のコットー品などを集めてゐる。